



あしよろ

No.221

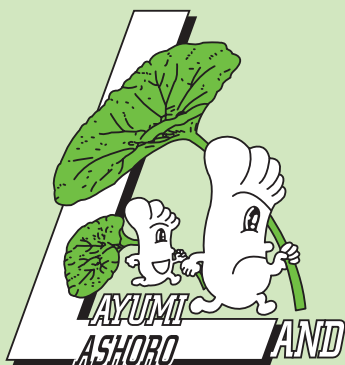
議会だより

2025.5

北海道足寄郡
足寄町議会発行



大萱地小学校入学式（4月8日）



条例等の審議内容・予算審査特別委員会 2～7ページ

一般質問（5議員が登壇） 8～12ページ

委員会レポート 13～15ページ

議会報告会・町民との意見交換会 16～17ページ

議会の動き など 18ページ

第1回定例会

令和7年度

一般会計
予算

111億487万2千円

第1回定例会は3月4日から21日までの18日間の日程で開催し（5～12日、14～16日、20日は休会）、初日は、議長の諸般の報告の後、町長から行政報告、町長、教育長から行政執行方針について報告を受けました。次に、報告1件、人事2件、条例制定3件、条例改正7件、その他4件を審議し、原案どおり同意、可決した後、請願1件を総務産業常任委員会に付託しました。

13日は、総務産業、文教厚生常任委員会より所管事務調査について報告を受けた後、5名の議員による一般質問（関連記事8～12頁）を行いました。

17日は、令和6年度補正予算の提案説明を受け、原案どおり可決しました。その後、令和7年度予算の提案説明を受けた後、予算審査特別委員会（委員長・川上修一、関連記事6～7頁）を設置しました。

18日は、総務産業常任委員会に付託していた請願1件の審議報告がされ、採決した後、休憩中に予算審査特別委員会で行いました。

19日は、意見書案1件を審議し、原案のとおり可決した後、休憩中に予算審査特別委員会で行いました。

21日は、予算審査特別委員会の審議結果の報告を受け、報告のとおり各会計の新年予算を原案どおり可決しました。次に、農業委員会委員の任命について12件を審議し、うち11件同意、1件不同意としました。次に、令和6年度追加補正予算の提案説明を受けた後、原案どおり可決しました。その後、追加議事日程において条例改正1件を審議し、原案どおり可決した後、議会運営委員会、広報広聴常任委員会より提出のあった所管事務調査期限の延期などを原案のとおり承認し、閉会しました。

報告

◆予定価格1千万円以上の工事又は製造の請負契約締結
議会総合条例の規定により
議事に報告するもの。

人事

◆監査委員の選任
3月31日に任期満了となる

監査委員について、川村浩昭さん（南2条1丁目）の再任に同意しました。

◆固定資産評価審査委員会委員の選任

3月31日に任期満了となる固定資産評価審査委員会委員について、伊藤啓二さん（下愛冠1丁目）の選任に同意しました。

◆農業委員会委員の任命

3月31日に任期満了となる農業委員会委員について、農

業委員会等に関する法律の規定により次の方の任命に同意しました。

・餌取靖徳さん
（足寄町愛冠）

・兼古照夫さん
（足寄町上利別本町）

・大平哲信さん
（足寄町茂足寄）

・葛西香織さん
（足寄町稲牛）

・伊藤力さん
（足寄町茂喜登牛）

請願

◆食料安全保障の強化に向けた次期基本計画及び酪肉近の改訂を求める請願書
提出者 足寄町農民同盟
執行委員長 蓑島 隆

- ・松田博幸さん
（足寄町郊南1丁目）
- ・佐藤伸哉さん
（足寄町芽登）
- ・人見華代さん
（足寄町螺湾本町）
- ・上妻良一さん
（足寄町螺湾本町）
- ・遠國和宏さん
（足寄町平和）
- ・宮口孝治さん
（足寄町鷺府）

意見書

◆食料安全保障の強化に向けた次期基本計画及び「酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための基本方針」（酪肉近）の改訂を求める意見書

総務産業常任委員会
委員長 多治見亮一

条例審議

足寄町の組織・機構の見直しを図るための改正。

◆足寄町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例及び足寄町税条例の一部を改正する条例

◆足寄町統計調査条例の一部を改正する条例
統計調査員証様式を改正するもの。

◆刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

◆足寄町職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例

◆足寄町公園条例の一部を改正する条例

◆足寄町水道布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例

◆足寄町議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例

◆足寄町議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例

◆足寄町課設置条例の全部を改正する条例

◆足寄町課設置条例の全部を改正する条例

◆育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律及び次世代育成支援対策推進法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

◆超勤勤務免除の対象となる子の範囲の拡大、仕事と介護の両立支援体制を利用しやすい勤務環境の整備について、令和7年度から実施することとされたことから、関係条例について改正するもの。

◆一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

◆人事院勧告に準じ、一般職の職員の給与、手当などを改定するために関係条例を改正するもの。

◆財産の無償貸付について（追認）
令和2年度より議会の議決に付すことなく財産の無償貸付を行っていたことから、議会の追認を要するもの。

◆貸付期間…令和2年4月1日～令和7年3月31日
（二川議員、井脇議員、進藤議員、榊原議員質疑あり）

◆財産の無償貸付について
財産を無償貸付するにあたり、議会の議決を要するもの。

◆貸付財産…旧足寄西中学校・貸付相手方…とかちペレット協同組合代表理事 菅原

（矢野議員質疑あり）

その他

◆足寄町国民健康保険特別会計保険給付費支払準備基金条例の一部を改正する条例
国民健康保険特別会計基金の設置目的を整理し、決算後速やかに基金の積み立てができるようにするための改正。

◆町道路線の変更について
公営住宅跡地の売却予定に伴い、下愛冠3丁目北2号通の一部を廃止するもの。

◆定住自立圏形成協定の變更について
帯広市と十勝18町村の間で締結している定住自立圏協定の協定書變更に伴い、議会の議決を要するもの。

◆令和6年度一般会計など8会計の補正予算は、3月17日と21日に即決で審議し、原案どおり可決しました。

◆一般会計など10会計の令和7年度予算は、議長を除く12名の委員で構成する予算審査特別委員会（委員長・川上修一）で審議し、3月21日の本会議で原案どおり可決しました。

◆主な事業等は次のとおりです。

◆住環境・店舗等整備補助金 3200万円

予算審議

◆令和6年度一般会計など8会計の補正予算は、3月17日と21日に即決で審議し、原案どおり可決しました。

◆一般会計など10会計の令和7年度予算は、議長を除く12名の委員で構成する予算審査特別委員会（委員長・川上修一）で審議し、3月21日の本会議で原案どおり可決しました。

◆主な事業等は次のとおりです。

◆住環境・店舗等整備補助金 3200万円



コミュニティバスを利用したモデルツアーの様子

【新年度予算】

・（仮称）旭町コミュニティセンター新築工事
1億1986万7千円

・旭町母と子の家解体工事
1542万2千円

・下愛冠3丁目公営住宅跡地売払に伴う配水管移設工事負担金 1584万5千円

・ふるさと足寄応援寄附推進事業 4920万3千円

・市街地コミュニティバス運行管理業務 882万1千円

・移住等サポート業務 622万9千円

・住環境・店舗等整備補助金 3200万円

・北海道UIJターン新規就業支援事業移住支援金	200万円	・軽費老人ホーム経営安定資金補助金	1200万円	・農業活性化推進事業（地域おこし協力隊）	1931万2千円	・付金	999万9千円	・有害鳥獣駆除報償金	2019万8千円	・森林整備事業	4851万3千円
・ふるさと納税返礼品開発支援補助金	200万円	・高齢者等複合施設管理運営業務	4434万8千円	・あしよろ和牛生産基盤強化プロジェクト事業補助金	464万円	・森林環境推進事業補助金	5653万7千円	・森林環境推進事業補助金	9149万4千円	・水源林造林事業	
・ふるさと足寄応援基金積立金	5035万1千円	・保護者負担金無償化事業	1899万5千円	・畜産振興資金貸付金	1億円	・豊かな森づくり推進事業補助金	3270万2千円	・足寄町商工会補助金	2635万8千円	・足寄町商工会補助金	
・住民基本台帳ネットワークシステム更新業務	1128万8千円	・乳幼児医療費	2324万8千円	・西足寄地区配水管改修工事	2794万	・木質バイオマス推進事業補助金	2000万円	・中小企業特別融資貸付金	1億9000万円	・足寄ふるさと盆踊り・両国花火大会実行委員会等補助金	720万円
・総合行政システム等標準化対応業務	1億1832万1千円	・子どもセンター暖房配管改修工事	1129万円	・道営水利施設等保全高度化事業（営農用水）	9570万5千円	・森林環境譲与税基金積立金	8452万2千円	・足寄ふるさと盆踊り・両国花火大会実行委員会等補助金	720万円		
・役場庁舎ネットワーク機器更新業務	4180万円	・子育て応援出産祝金	440万円	・畜産物処理加工施設機械設備改修工事	647万4千円						
・Jアラート機器更新業務	1120万9千円	・家庭的保育業務	1108万8千円								
・戸籍総合システム改修業務	1220万9千円	・患者輸送車	1054万5千円								
・障害者地域生活支援センター管理運営業務	2422万2千円	・町営温泉浴場管理運営業務	2757万7千円								
・足寄町社会福祉協議会補助金	4340万1千円	・一般廃棄物収集運搬業務	6209万3千円								
・障害者自立支援給付費	3億9266万円	・十勝圏複合事務組合じん芥負担金	2903万9千円								
・障害者医療費	2809万6千円	・し尿収集運搬業務	1406万8千円								
・障害者地域生活支援給付費	1861万2千円	・国民健康保険病院対策費	5億9650万5千円								
・後期高齢者医療事業療養給付費負担金	4900万円	・農業担い手育成支援事業	3111万円								
		・防衛施設周辺農業用施設設置事業補助金	4900万円								



畜産物処理加工施設

令和7年度 各会計の当初予算額（単位：千円）

会 計 別		歳入歳出予算額		前年度増減（%）
		令和6年度	令和7年度	
一 般 会 計		10,141,051	11,104,872	9.5
特 別 会 計	国民健康保険事業	848,581	818,430	△3.6
	簡 易 水 道	68,748	50,377	△26.7
	介 護 保 険	917,090	884,074	△3.6
	介護サービス事業	1,534,780	2,141,548	39.5
	後期高齢者医療	159,347	157,904	△0.9
	資源ごみ処理等事業	87,766	97,285	10.8
上 水 道 事 業 会 計		251,872	256,110	1.7
下 水 道 事 業 会 計		494,791	481,915	△2.6
国 保 病 院 事 業 会 計		1,375,564	1,416,217	3.0
総 合 計		15,879,590	17,408,732	9.6

・付金	999万9千円	・森林整備事業	4851万3千円
・有害鳥獣駆除報償金	2019万8千円	・水源林造林事業	9149万4千円
・森林環境推進事業補助金	5653万7千円	・足寄町商工会補助金	2635万8千円
・豊かな森づくり推進事業補助金	3270万2千円	・中小企業特別融資貸付金	1億9000万円
・木質バイオマス推進事業補助金	2000万円	・足寄ふるさと盆踊り・両国花火大会実行委員会等補助金	720万円
・森林環境譲与税基金積立金	8452万2千円		

- ・あしよる観光協会補助金 950万円
- ・地籍調査事業 5951万7千円
- ・町道応急補修工事ほか 9001万3千円
- ・街路灯等整備工事 5140万3千円
- ・橋梁長寿命化修繕事業 1億4863万2千円
- ・道路ストック修繕事業 7927万7千円
- ・里見が丘公園整備工事 2978万8千円
- ・栄団地公営住宅屋根・外壁塗装工事 2376万5千円
- ・北星団地公営住宅解体工事 2397万4千円
- ・常備消防管理経費 2億6739万1千円
- ・非常備消防管理経費 7947万4千円
- ・足寄町学習塾管理運営業務 3663万円
- ・足寄高等学校振興会補助金 927万5千円
- ・足寄高等学校通学費等補助金 2692万8千円
- ・足寄高校生海外研修派遣事業実行委員会補助金 5088万8千円

- ・スクールバス 1372万6千円
 - ・大誉地小学校ベランダ改修工事ほか 737万2千円
 - ・タブレットパソコン一式(小・中学校) 2721万円
 - ・博物館施設管理運営業務 4730万円
 - ・総合体育館暖房用熱交換器更新工事 819万2千円
 - ・学校給食費無償化事業補助金 2713万円
- 討論**
- ※紙面の都合上、要約した内容をお知らせします。
- (一般会計)
- 反対討論**
- 矢野議員** 町の指定管理者制度導入施設のうち、大規模草地育成牧場のみ負担金を徴収している。施設修繕に係る経費ではあるが、これを徴収せず農家支援に充ててほしいので、この農業施設等整備負担金の予算に反対する。
- また、職員の持ち家に対する住居手当は、人事院勧告に基づき廃止すべきである。
- 賛成討論**
- 榊原議員** 一般会計予算には

- 特養建築、小学校改修、消防体制の強化など、必要な予算が計上されていた。町長が健全財政の堅持に努め、議会と連携しながら協働のまちづくりを進めていくと約束してくれたことに期待する。
- (簡易水道特別会計)
- 賛成討論**
- 矢野議員** 住居手当の持ち家分については反対だが、一般会計で既に反対をしているので、その他の会計については賛成する。
- (国民健康保険病院事業会計 予算)
- 賛成討論**
- 榊原議員** 国保病院について、今後地域のかかりつけ医としての役割がますます重要になってくるが、諸経費が増額となり厳しい運営状況であるとの説明があった。職員の能力を発揮し、笑顔でもって経費高を乗り切ってもらいたい。
- 【補正予算】**
- 一般会計(第16号)
- 歳出
- ・会計年度任用職員等共済組合負担金ほか
- △1150万1千円

令和6年度 各会計別補正額

(令和7年3月21日現在)

(単位: 千円)

会 計 別	補 正 額	総 額
一 般 会 計	△268,631	10,313,994
特 別 会 計	国民健康保険事業	6,446
	簡 易 水 道	△2,689
	介 護 保 険	△72,824
	介護サービス事業	△92,804
	後期高齢者医療	△1,209
	資源ごみ処理等事業	△377
下 水 道 事 業 会 計	3,135	498,186
国 保 病 院 事 業 会 計	△66,971	1,299,060

- ・減債基金積立金 2635万円
- ・住環境・店舗等整備補助金 △804万1千円
- ・企業振興促進補助金 959万円
- (榊原議員質疑あり)
- ・地域間幹線系統路線維持費 補助金 3591万7千円
- ・介護保険特別会計繰出金 △1012万6千円
- ・個別予防接種業務 △1524万6千円
- ・不採算地区病院運営経費負担金 3700万円
- ・職員給与経費 △900万円
- ・歳入
- ・企業版ふるさと納税寄附金 120万円
- ・辺地対策事業債 △4040万円
- ・一般会計(第17号)
- ・繰越明許費として、次のとおり追加するもの。
- ・伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金等一体的実施事業 200万円

予算審査特別委員会より

3月18日、19日に開催された予算審査特別委員会（委員長・川上修一）では、活発な質疑が行われました。

紙面の都合上、発言者と要約した内容をお知らせいたします。

【一般会計】

歳出

○議会費

二川委員 議員へのタブレットパソコン支給について

○総務費

進藤委員 自動車共済保険の補償内容等について

木村委員 地方創生推進事業における結婚新生活支援事業補助金について

二川委員 地域おこし協力隊・集落支援員について

早瀬川委員 銀河線代替バス通学定期運賃差額補助金について

二川委員 生活交通路線確保運行業務による代替タクシーについて

早瀬川委員 移住促進事業における委託業務について

進藤委員 地域公共交通対策

事業における委託料について

多治見委員 地域おこし協力隊の住宅に係る費用について

多治見委員 集落支援員の勤務時間について

高橋委員 地域おこし協力隊の活動内容について

進藤委員 任期満了後の地域おこし協力隊員の定住に向けた取組について

進藤委員 集落支援員の活動について

二川委員 出退勤管理システムについて

木村委員 Jアラート機器の更新について

○民生費

進藤委員 軽費老人ホーム（ケアハウス）経営安定資金補助金について

進藤委員 ケアハウスの経営状況について

二川委員 ケアハウスの中長期計画について

高橋委員 ケアハウスの運営について

進藤委員 軽費老人ホームに対する国の補助基準額について

進藤委員 妊婦のための支援

給付金について

進藤委員 母子保健DXについて



DXにより導入されたあしよろ子育てアプリ

○衛生費

榊原委員 町営温泉の利用者数と営業時間について

○農林水産業費

木村委員 地図情報（統合型GIS）システムの導入について

早瀬川委員 農業担い手育成支援事業について

木村委員 防衛施設周辺農業用施設設置事業について

早瀬川委員 あしよろ和牛の還元販売について

二川委員 畜産物処理加工施設維持管理業務について

二川委員 町と猟友会の関係性について

進藤委員 ヒグマの出没情報を共有するクラウドシステムについて

○商工費

早瀬川委員 中小企業特別融資利子補給費について

早瀬川委員 ふるさと盆踊り・

両国花火大会実行委員会等補助金について

○土木費

田利委員 里見が丘公園整備工事について

多治見委員 下愛冠北星団地公営住宅の解体について

○消防費

進藤委員 とがち広域消防事務組合消防負担金について

木村委員 消防車両の更新について

○教育費

多治見委員 地域教育活性化コーディネーターの活動内容について

進藤委員 修学旅行費補助金額について

木村委員 学校給食における物価高騰の影響について

○職員費

矢野委員 町職員数について

歳入

進藤委員 地域部活動推進事業国庫補助金について

【国民健康保険病院事業会計】
進藤委員 病院・勤務医賠償責任保険料について

第1回臨時会

1月24日開催
補正予算を
可決

1月24日に開催した第1回臨時会では、報告2件、報告承認2件、補正予算案2件が提出され、全て原案どおり承認、可決し、閉会しました。

【専決処分の報告】

◆車両事故に対する損害賠償の額を定めることについて
◆令和6年度足寄町一般会計補正予算（第10号）
事故に対する損害賠償に伴う補正

【専決処分の報告承認】

◆令和6年度足寄町一般会計補正予算（第11号）
◆令和6年度足寄町下水道事業会計補正予算（第3号）
下水終末処理場汚泥脱水機修繕に伴う補正

【予算審議】

可決した予算の主な内容は次のとおり。

◆一般会計補正予算（第12号）
・福祉施設等物価高騰対応支援交付金 239万円

- ・物価高騰対応重点支援給付金（低所得世帯支援分） 3000万円
- ・物価高騰対応重点支援給付金（子ども加算分） 140万円
- ・物価高騰対応農業継続支援補助金 4140万円
- ・足寄町飲食店・宿泊施設等物価高騰対応支援交付金 550万円
- ・中小企業物価高騰対応支援補助金 600万円
- （進藤議員質疑あり）
- ◆一般会計補正予算（第13号）
 - ・生徒文化スポーツ大会補助金 112万8千円

第2回 臨時会
2月20日開催
指定管理者を
指定

2月20日に開催した第2回臨時会では、町長の行政報告の後、報告承認1件、指定管理者の指定3件、補正予算案9件が提出され、全て原案どおり承認、可決し、閉会しました。

- ◆【専決処分の報告承認】令和6年度足寄町一般会計補正予算（第14号）
2月3日から4日にかけての大雪に伴う除雪作業にかかる予算の補正
- ◆【指定管理者の指定】
 - ◆足寄町公の施設に係る指定管理者の指定
公の施設の指定管理者を、次のとおり指定した。指定期間についてはいずれも令和7年4月1日から令和12年3月31日まで。
 - ①施設の名称…足寄町障害者地域生活支援センター
指定管理者の名称…NPO法人ママサポートえぶろん（進藤議員質疑あり）
 - ②施設の名称…足寄町営大規模草地育成牧場
指定管理者の名称…足寄町農業協同組合（矢野議員、二川議員質疑あり）
 - ③施設の名称…足寄動物化石博物館
指定管理者の名称…NPO法人あしよろの化石と自然
- ◆【予算審議】
 - ◆一般会計補正予算（第15号）
可決した予算は債務負担行為補正によるもののほか、主

- な内容は次のとおり。
歳出
 - ・健康管理システム改修業務 200万円
 - ・担い手確保・経営強化支援事業補助金 859万7千円
 - ・上芽登原野支線用地確定測量業務 484万円
 - ・上芽登原野支線災害復旧工事 2379万3千円
 - ・道路橋梁災害復旧費用庫負担金 1814万1千円
 - ・担い手確保・経営強化支援事業道補助金 859万7千円
 - ・介護サービス事業債（過疎債） Δ2930万円
 - ・道路橋梁災害復旧事業債（単独・補助合計） 1310万円
- ◆国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）
高額療養費及び葬祭費の増加によるもの。
- ◆簡易水道特別会計補正予算（第3号）
- ◆介護保険特別会計補正予算（第3号）
- ◆介護サービス事業特別会計補正予算（第6号）
- ◆資源ごみ処理等事業特別会

賛否出席状況等

足寄町議会総会条例の規定に基づき、第1回臨時会、第2回臨時会、第1回定例会における議員の出席状況及び議案等に対する議員個々の採決態度を公表します。

第2回臨時会において、多治見議員が2月20日の本会議を欠席しました。第1回臨時会、第1回定例会において欠席、遅参、早退する議員はいませんでした。

また、提案された個々の議案について、賛否が分かれたものについては下記のとおりです。

議 決 結 果（賛否等が分かれた議案）

賛成＝○ 反対＝●

議 案 名	早瀬川恵	井脇昌美	榊原深雪	矢野利恵子	田利正文	高橋健一	木村明雄	細川 勉	川上修一	進藤晴子	多治見亮一	二川 靖	高橋秀樹	議決結果
第1回定例会	議案第25号 一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第38号 令和7年度足寄町一般会計予算	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第56号 農業委員会委員の任命について	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	原案不同意

※ 高橋秀樹議員は議長職のため、表決権はありません。

一般質問 5 議員が登壇

一般質問の質問内容及び答弁内容は要約してあります

オンネトーの今後について



木村 明雄 議員

開始に向けて準備を進めていく予定である。

木村議員 過去3年間にオンネトーを訪れた観光客の入込数は。

経済課長 令和4年度は27万5453人、令和5年度は30万7942人、令和6年度はまだ途中であるが、現時点で31万6043人。

木村議員 合同会社ほとりが野営場休憩舎の事業者に決定するまでの経過と、今後の仕事内容は。

経済課長 合同会社ほとりは管理業務を受託するために作られた会社であり、社員3名とアルバイトを含めたパートで休憩舎の管理・運営を行っていく。

木村議員 今後社員がオンネトーまで通勤することになると思うが、市街地からは約50分かかるのは大変だと考える。加えて、山の天気は変わりや

すく、濃霧、豪雨、台風といった悪天候の日が予想される。そのような場合には、管理者が泊まりがけで施設管理をする必要があると考えるが、休憩舎に宿泊できる設備はあるのか。

経済課長 管理者専用ではないがシャワールームがあり、また調理室、休憩スペースも設置されているため、それらの設備を利用して宿泊は可能である。



オンネトー休憩舎（令和3年撮影）

ある足寄町を代表する温泉施設で、遠くからの旅行者はもちろんのこと、登山者、町内地元の人々に愛され、100年以上の歴史のある山の宿である野中温泉が、このようなことになってしまったことは残念でならない。これについて町長の考えは。

町長 現在は所有者が現地の後片づけなどに当たっており、今後についてはまだ何も決まっていないと聞いている。

野中温泉はオンネトー地区の観光拠点となっていた歴史ある旅館であり、事業再開に向け所有者から町に相談があれば、どのような支援が可能か検討していく。

木村議員 およそ20年前は、野中温泉本館、野中温泉ユースホステル、景福旅館の3軒が立ち並び、遠くからの観光客、修学旅行の生徒、登山者、地元の湯治客など数多くの人で賑わっていた。また、平成30年には野中政造さんが当時の世界最高齢男性としてギネスに認定され、話題となった。その温泉施設が無くなってしまい、忍びなくとも残念ではない。

町長は野中温泉の経営者と話す機会があると思うが、今後の予定はどのようなになっているのか、分かる範囲で答えてもらいたい。

町長 野中温泉の経営者と会える機会があり、今後について伺ったところ、まだ決まっていないとのことであった。一定程度時間をかけながら考えられるのかと思う。

木村議員の言うとおり、野中温泉は国内外から多数の観光客さんが来ていた伝統ある温泉であり、出来ることなら再開して欲しいと考えている。野中さんが今後の方向性を決められた時には、町としてもできる限りの支援をしていきたい。



毎年、多くの人が訪れるオンネトー（2024オンネトー物語の様子）

健康増進のための トレーニングルームの活用について



はやせめぐみ
早瀬川 恵 議員

早瀬川議員 厚生労働省の報告によれば、成人及び高齢者が筋力トレーニングを週2日から3日実施することにより

生活機能の維持・向上や病気の予防、死亡リスクの軽減につながるのとことである。特に高齢者は適度なトレーニングを実施することで筋力や身体機能、骨密度が改善し、転倒や骨折のリスクが低減され、フレイル（加齢による虚弱化）を防ぐことにもつながることが期待される。

町民の健康保持・増進、高齢者の介護予防の観点から、町で把握している高齢者（65歳以上）の医療費の状況と全体に占める割合について確認したい。

町長 令和5年度国民健康保

険事業の医療費約6億1992万円に対し、65歳以上の方に係る医療費は約3億3990万円となっており、全体に占める割合は54・8%となっている。また、後期高齢者医療保険事業に係る全体の医療費は約11億1112万円となっている。

早瀬川議員 65歳以上の国民健康保険加入者と後期高齢者医療保険加入者の医療費の合計額は約14億5000万円となっている。医療費縮減のためにも、足寄町に元気な高齢者を増やしていくことが、持続可能な健康保険制度の維持にもつながっていくと考える。総合体育館にあるトレーニング機器を活用した健康増進の取り組みを、教育委員会と福祉課が連携して取り組めないか。

福祉課長 町民を対象とした総合体育館のトレーニング機器を活用した健康増進の取り組みとして、平成30年度に

「足ザップ」を実施している。「足ザップ」を高齢者のほかに、健康のために運動を始めたいがどうやって始めればよいのか分からない方や、ダイエット目的でトレーニングをやってみたいと考えている方は少なからずいると考える。そういった方々が一歩踏み出すことができるよう、町が積極的に運動のきっかけづくりをしていくことが必要ではないか。

教育次長 令和3年度にはサークルからの相談に対応する形で、総合体育館のトレーニング機器の使用方法についての講習会を開催した。今後も相談があれば、積極的に対応していきたい。

早瀬川議員 総合体育館のトレーニング機器の中に、高齢者が使うのが難しそうな機器がいくつか見受けられた。次回の機器更新の際は、高齢者も使いやすい機器の導入を検討し、利用促進につなげてもらいたい。

教育次長 現在ある機器は体を鍛える目的に使用されるものが多く、リハビリ目的で使

用されていると考える。正しいトレーニングを続けることで、高齢者になっても自立した生活が送れるようになる。利用者一人一人に合ったトレーニングプログラムを作成し、無理なく継続して体育施設を利用できるような取組を進めていく考えはあるか。

早瀬川議員 総合体育館トレーニングルームを活用し、体を動かしたい高齢者に運動の機会が提供されればいいと考えるが、どのように考えているか。

教育長 ネイパル足寄と連携し、健康増進の事業を実施できないかと考えている。例えばスポーツ指導にたけているネイパル足寄所長に総合体育館トレーニングルームの使用方法をレクチャーしてもらい、その指導を受けた総合体育館の職員が、日常的に利用者に対して個別対応できるようにする、といったことが考えられる。このようにネイパル足寄とも連携をしながら、いろいろな健康増進の取り組みを検討していく。

早瀬川議員 指導者の下、安心してトレーニングができる環境をつくっていくことが必要だと考える。トレーニングマシンが設置されていても、やはり一人一人に合った運動指導が行き届いて、初めて活

用されていると考える。正しいトレーニングを続けることで、高齢者になっても自立した生活が送れるようになる。利用者一人一人に合ったトレーニングプログラムを作成し、無理なく継続して体育施設を利用できるような取組を進めていく考えはあるか。



総合体育館トレーニングルーム

用されていると考える。正しいトレーニングを続けることで、高齢者になっても自立した生活が送れるようになる。利用者一人一人に合ったトレーニングプログラムを作成し、無理なく継続して体育施設を利用できるような取組を進めていく考えはあるか。

教育長 ネイパル足寄所長に指導していただきながら、職員が利用者向けの個別プログラムを作成するスキルを身に付け、要望に対応するといったことは不可能ではないと考えている。個別プログラムに関連する様式の作成など、検討してより良い方向に進めていきたい。

大雪が降ったときの除雪困難者に対する支援体制について



矢野利恵子 議員

人材不足に伴い令和6年度は除雪作業の対応ができないとの報告を受け、町商工会及び足寄建設業協会を通じて個人宅の除雪作業を請け負うことが可能な事業者を募ったが、

回答が得られた事業者は1件で、かつ手作業であれば対応可能というものであった。市街地の町道除雪作業については、町直営だけではなく民間事業者へ委託し実施している。しかしながら先般の大雪の際には1日では町道の除雪対応が完了できない状況であったことから、対象者が希望する日時で自宅前の除雪に対応することは困難と考える。

また、町として自治会等の地域組織が実施する除雪活動に対し助成を行っており、高齢者宅だけではなく、身体的に除雪することが困難と思われる町民税非課税世帯、身体障害者や病人等があり、真に除雪が困難であると認められる世帯を除雪支援の対象としている。

2点目については、1点目にもあったとおり自治会等が実施する除雪活動に対して町から助成金を交付しており、自己負担の無いようにしている。除雪の支援を必要とする町民が一定数いることから、今後もしも自治会や建設業協会等と連携し、除雪の支援を継続していく。

矢野議員 今年2月4日に足寄町内で約80センチメートルの積雪があり、ホイールローダーなどの重機を使わなければ除雪できない状況であった。地球温暖化の影響により今後このような事態が予想される中、町として次のような支援はできないか。

①高齢者宅だけでなく除雪に助けが必要と認められる人の自宅前の除雪を、冬期間仕事量が少なくなると考えられる事業所に町の事業として委託する。

②除雪にかかる費用は町の予算より支出し、自己負担は無いものとする。

町長 1点目については、昨年10月に足寄町社会福祉協議会の高齢者就労センターから、

いる。加えて、足寄建設業協会が町との協定に基づき除雪の支援が必要な高齢者等の自宅前をボランティアで除雪している。

いまちであり、降雪の状況に応じた適切な世帯に除雪支援が必要かというのは把握が難しい。

町長 今回の大雪を災害と判断するかはわからないが、頻繁に起こるものではないと考えつつ、気候変動により今後起こるかもしれないということも踏まえ、大雪対策を考えていかなければならない。しかしながら、そのためにだけホイールローダーを購入するというのは、財政的な問題もあつて難しい。町だけでは除雪対策に取り組んでいくことは出来ない、建設業協会に取り組んでもらうて除雪ボランティアなども含めて今後どうしていくのか、検討しなければならぬ。

矢野議員 除雪の支援対象となつていく世帯数は、

矢野議員 社会福祉協議会で除雪作業に対応できなくなったというのは、人手不足が原因であるため、町がホイールローダーを貸与したとしても除雪への対応は難しいと考える。

今すぐはどうするといった対応はできないが、今後どのような対策ができるか検討していく。

福祉課長 令和6年度は61世帯。

矢野議員 今回のように、手作業ではなく重機を使わないと除雪が出来ないような大雪が降った場合、どのような除雪の支援体制となるのか。

町長 福祉課長の答弁にあつた世帯数は、あくまでも通常の降雪時に支援対象となる世帯であり、今回のような大雪が降った場合はほとんどの世帯が除雪に困つていたのでないかと考える。足寄町は広

矢野議員 私が問題と考えているのは、今回のような重機を使用しなければ除雪が困難な大雪が降った場合である。今後このような大雪が降った場合は、通常の除雪対策ではなく災害対策として取り組

市街地除雪作業のようす



合葬墓設置の早期実現を



た り ま さ ふ み 議員
田 利 正 文

田利議員

1600年代に日本独特の檀家制度がつくられて以降、仏式の葬儀・法要は政治と社会の変化に合わせて今日の形式になってきた。そして近年は、自分と家族の葬送をどうするかを自由に議論できるようにってきた。

お墓に遺骨を入れ、そのお墓を子や孫たちに維持、管理させるという負担をかけたくないと思っている人が、自分や家族の葬儀はしない、遺骨は拾わない、墓じまいをするという選択肢があってもいいと考える。

これを前提に、以下の点について伺う。

①維持、管理されていない所有者不明の無縁墓は町内に現在どれくらいあるか。
②合葬墓設置の早期実現はできないか。

町長

1点目について、足寄霊園、全区画数1186区画のなかで使用されている区画は948区画、そのうち相続人不明の無縁墓と推定される墓は94基あり、集落墓地については、現在使用されている181基のうち、無縁墓と推定される墓は15基ある。

2点目について、合葬墓の設置を検討するには町内寺社関係者から意見聴取をし、協議を行った上で判断する必要があると考えている。併せて、合葬墓の仕組み上、納骨後に宗教的な行事を実施しないこと、焼骨を取り出すことができないことなどについて、事前に住民周知が必要であると考えている。

加速する人口減少や少子高齢化に起因する墓地継承者の不在に加え、維持管理に係る経済的負担増などの理由から、全道的、全国的に合葬墓が注目されていることを踏まえ、他自治体が運営する合葬墓の設置状況等を調査し、慎重に判断していきたい。

田利議員

以前の答弁で町長も同じ状況にあると言っていたが、町長は身内にお墓の維持管理の負担をさせないための解決策を見い出せたのか。妙案があればお聞きたい。

町長

妙案はないが、自身の状況はそこまで深刻には考えていないというのが正直な話である。核家族化が進んだ現在では、子どもたちが少ない、地元の近くにいないと言ったことからお墓の問題を抱える方は多いのではないかと考える。

田利議員

以前の一般質問で、町長から「合葬墓については事前に宗教団体との意見交換をしなければならない」という趣旨の発言があったと認識しているが、その後意見交換などは行ったのか。

町長

合葬墓の設置について意見交換をしなければならないと認識しているが、できていない状況である。

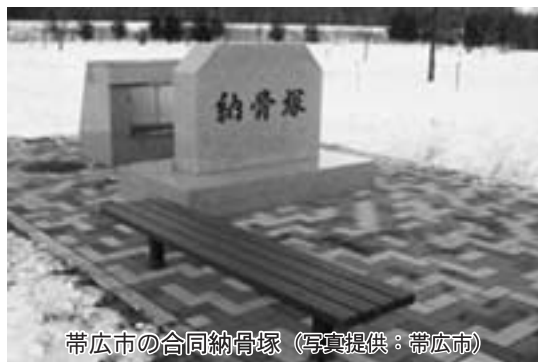
田利議員

「自分のお墓を管理してくれる人がいない」「子や孫たちに負担を負わせたく

ない」と考えている人達がいる。そのような悩みを抱える人に対する当面の解決策の一つとして、合葬墓の設置があると考えている。これらの状況も踏まえ、早期に設置できないか改めて伺いたい。

町長

合葬墓については第7次総合計画にも記載しており、必要性については認識している。具体的にいつ、ということには言えないが、設置・整備に向けて取り組みを進めていきたい。



帯広市の合同納骨塚 (写真提供：帯広市)



管理されていないと思われる墓 (足寄霊園)



足寄町の財政状況の現状と課題、 今後の財政運営の方向性について



進藤 晴子 議員

額程度で推移し、町税は人口減少に伴い減少している。国・道補助金については、対象事業の実施状況により増減すると想定される。

進藤議員 ふるさと納税の支援補助金を増額し2000万円収入アップを図る計画があるようだが。

総務課長 新商品の開発補助金は、令和6年度は3件の利用があった。さらに増えることを期待し金額増額を考えている。また、今回サポート業者を変更し、経費率を下げる提案も受けていることから、2000万円アップの1億円を計上している。

進藤議員 昨年9月に当町で、ラリー北海道がカーボンオフセットのクレジットを活用したようだが。

経済課長 北海道森林バイオマス吸収量活用推進協議会の事業の一つ。本来企業が負うべきCO2削減を賄うため、クレジットを購入してもらい町の間伐作業などに充当して

いる。協議会で唯一本町がラリー北海道の開催地であることから、クレジットを活用したカーボンオフセットが行われた。

本町では民間企業からのカーボンオフセットの申し出のほか、昨年度はふるさと納税の返礼品として個人での申し出もあった。

進藤議員 今までの収入額は。

経済課長 平成22年度からこの事業をスタートし、全額を森林の二酸化炭素吸収及び削減活用基金に積み立て、令和6年度基金残高は4504万円となっている。

進藤議員 町有林の伐採収入の管理方法は。

副町長 この収入は、のちに歳入予算で計上し、その年度の必要な経費に充て、残金は財政調整基金に積み立てる。財産である町有林の基金はない。

進藤議員 近年の歳出の推移と特徴についての分析は。

町長 過去5年間の歳出で多くを占めているのが、補助費等や人件費、普通建設事業費、補助費等については、令和2年度以降、新型コロナウイルス対応や物価高騰対応に係る

地方創生臨時交付金が国から配分され、影響を受けた事業者や低所得者等に対する支援を行っている為、割合が高くなっている。

進藤議員 人件費、扶助費、公債費などの義務的経費の割合と、その持続可能性について。

町長 一般会計における義務的経費の割合は、令和元年度31・7%、令和2年度34・7%、令和3年度35・1%、令和4年度38・9%、令和5年度42・0%、令和6年度37・7%（見込み）。

全国的に人件費が増加傾向にある一方で、今後、過去の地方債の償還完了により公債費が減少するため、義務的経費の割合は同程度で推移すると見込んでいる。

進藤議員 現在の基金の残高と、その主な活用方針は。

町長 令和6年度末の基金残高は財政調整基金約19億円を含み約54億6000万円となる見込み。今後、物価や労務費の高騰による経費に活用し、必要な事業を実施していく。

進藤議員 この低金利の中で、基金をどう運用してきたのか。
会計管理者 定期預金に積み、

投資はしていない。
副町長 安全な基金運用について今一度考えてみたい。手堅い国債など、今後研究していく。

進藤議員 直近5年間の財政状況の推移は。

町長 経常収支比率は、令和元年度の90・6%から令和6年度の決算見込みで88・9%まで改善。将来負担比率は、令和元年度のマイナス1・9%から、令和6年度の決算見込みでマイナス32・1%まで改善すると見込んでいる。これらの数値から、財政構造硬直化は続いているが悪化はしていない。

進藤議員 今後の財政運営の方向性について。

町長 財政状況は決して悪くはないが、予断を許さない状況。足寄町第7次総合計画に基づき、ふるさと納税などの自主財源確保に努め、国・道などの補助制度や有利な地方債の活用、適正な受益者負担、事務事業の効率化によるコスト削減などを行い、健全な財政運営に努めていく。

町長 過去5年間で共通して最も多いのが地方交付税。概ね2番目から3番目を占めているのが町税。大型の建設事業を行った年度や、国の地方創生臨時交付金が多く配分された年度については、国庫支出金や事業実施に伴う町債が町税よりも多くなっている。
進藤議員 主要な財源（地方交付税、町税、国や道の補助金など）の今後の見通しは。
町長 地方交付税は今後も同

農作物の生育状況、

工事の執行状況、

町道の維持管理を調査

総務産業常任委員会

総務産業常任委員会（委員長・多治見亮一）は農作物の生育状況、土木・建設工事の執行状況及び町道の維持管理についての2件を第1回定例会で調査報告しました。

農作物の生育状況について

「小麦・豆類・てん菜・馬鈴しょとも、反収は昨年を上回る結果に」

調査日

令和6年7月19日、9月12日、令和7年2月12日

調査結果

令和6年7月19日、農作物の生育状況について担当課より説明を受けたのち、現地調査を実施した。その後の生育・収穫状況等について令和6年9月12日及び令和7年2月12日の2日間、担当課より説明を受け、延べ3日間の調査を

終えた。

4月から7月中旬までは気温は平年を上回り、降水量は

平年より少なく推移したが、天候に恵まれ、7月の現地調査時点では農作物の生育は順調に推移し豊作が期待される状況であった。

昨年は、高気温や9月以降の断続的な降雨により病気等が発生し、豆類とてん菜は品質低下が見られ不良作となったが、本年度は適期防除の実施より、てん菜は糖度が平年を若干下

作況状況の説明を受ける委員



回ったものの褐斑病もある程度抑えられ、馬鈴しょは小玉傾向であったものの玉数が多かったことから、反収は小麦・豆類・てん菜・馬鈴しょとも昨年を上回り、かつ、平年作を若干上回る結果となった。令和7年も地球温暖化の影響により、近年同様、気温が高めに推移することが予想されることから、適期防除の実施や、各関係機関・団体による営農技術指導等による猛暑対策の徹底により、みなさんで喜び合える豊穰の秋を迎えられることを期待する。

土木・建設工事の

執行状況及び町道の

維持管理について

「問題なく適正に執行無事故無災害での事業執行を」

調査日

令和6年11月28日、令和7年2月12日

調査結果

土木・建設工事の執行状況について、前段に本年度の町全体の発注工事及び発注予定工事の概要や進捗状況の説明を受け、令和6年11月28日に現地調査を実施した。

現地調査は、特別養護老人ホーム・デイサービスセンター新築（建築主）工事、同（外構）工事及び里見が丘公園整備（幹線園路2）工事の3か所で実施し、特に問題なく施工されていると確認し、現地調査を終えた。次に、町道の維持管理については、令和7年2月12日に除排雪状況に関

特養・デイサービスセンター新築工事を視察



し除雪作業等実績の説明を受け、質疑応答ののち、鷲府から平和方面6路線、芽登方面4路線の現地調査を実施した。除排雪状況については、一週間前の大雪による大きな混乱もなく、適切に処理しており問題はなかったが、街中の道路幅の拡幅と交差点等の排水に力を注いでもらいたい。今後、大雪に見舞われることもあると思われるので、入念に準備し、現場では安全第一を最優先に、無事故、無災害にて事業執行にあたられることを願いたい。

学校教育の現状と課題を調査

小学校の学校運営、中学校の部活動地域移行の現状を確認

文教厚生常任委員会

文教厚生常任委員会（委員長・川上修一）は学校教育の現状と課題について第1回定例会で調査報告しました。

学校教育の現状と課題について

（小学校の学校運営、中学校の部活動地域移行）

調査日

令和6年6月18日、6月25日、7月4日、7月17日、8月28日、10月24日、11月27日、令和7年2月20日

調査結果

①芽登小学校

訪問してまず初めに感じたのは、児童の活気あふれる様子である。

保護者の職業が酪農業・畜産業と共通していることからまとまりもあり、学校運営にも協力的で校内はアットホー

ムな雰囲気であった。

そのため児童は、皆仲が良く、高学年の子は低学年の子の面倒を見ていて、学校教育目標に掲げている「豊かな心でたくましく生きる子ども」が実践されており、児童数は少ないが全体的にバランスのとれた学校運営がなされていると感じた。

授業では、ICT機器（タブレット）をどのように活用しているかを視察した。社会科では児童が出題者となり、クイズ形式で授業が行われていた。このようなゲーム感覚であればその内容も習得しやすいのではと感じた。

算数の授業では、皆で同じ画面（ソフト）で取り組むのではなく、それぞれが個々の

内容で学習しており、児童の理解度に応じて、できる子は先行し、苦手な子は教員がその部分に時間をかけて指導している。授業なのに刑事ドラマを見ている子がいたが、ドラマの中で問題が出るというソフトであり、児童が興味を持って授業を受けることができるように工夫されていた。

このソフトの選定は担任の教員によるもので、ICT授業は、教員の創意工夫、発想が必要であり、その対応に気を遣うだろうと想像した。

今後中学校に進学した際、スムーズに中学校生活になじんでいけるか心配だが、現在各種スポーツ少年団や習い事等に通っている児童も多いようで、市街地の子どもとの交流もある様子である。

また、足寄小学校と合同で学習する機会を作っているが、もっと増やしていきたいとの事であった。

素直で伸び伸びと学んでいる児童に接し、心が洗われたと同時に、人生の試練にも負けないたくましさを感じられるよう、学校、教育委員会、保護者が一体となり取り組ん

でいただきたい。

②足寄小学校

ICTの授業では、1クラス20人以上と人数が多いので、先生と児童が同じ画面を見る形態で行われていた。

児童は、皆集中して授業に参加しており、先生の問いにも積極的に答え元気な様子が伺えた。

CIR交流（国際交流員による外国の文化に触れるプログラム）では、英語での授業が行われており、児童が交流員2人と親しくなっているのが伝わってきた。

音楽の授業は、音楽室にエアコンが設置されていないので今後必要ではと感じた。

児童との給食試食は低・中・高学年と3班に分かれ行った。

「量は足りていますか？」「好きなメニューは？」などと話をし、和やかに交流を持った。その際、児童からは大人に対する言葉遣いや話題に気遣いが感じられ、家庭教育と学校教育の成果が表れている印象を受けた。

給食はとてもおいしく、物価高騰の中、給食センターの努力は相当なものがあると感

じた。

6年生との意見交換会では、事前に児童から質問を提出してもらい、各委員に割り振りして回答を準備した。

子どもたちからの質問に答える委員



質問は「子どもの遊べる場所やお祭りを増やしてほしい」といった子どもらしいものから、「議員はどんな仕事をしているか、議員の人数を増やすにはどうしたら良いか」といった大人びた質問もあった。また、通学路の危険箇所に関する質問もあり、色々と注意深く観察していることを実感した。

子どもの意見を直接聞く機会が少ないので、今回の取組は私達議員にとって大いに参考になるとともに子供達に理

解できるよう調べて回答を考
えることも貴重な体験となっ
た。

担任の先生の協力を深く感
謝するとともに、今後も意見
交換会の継続が必要と考えら
れる。

足寄小学校では、学校生活
の基礎・基本となる理念「足
寄小学校あ・い・う・え・お」
☆「あ」：挨拶、「い」：一
生懸命、「う」：美しい学校、
「え」：笑顔、「お」：思い
やり、この五項目を大切にし
て、日々過ごしている。

昼休みに学校内を見学した
が、廊下で児童に出会うと笑
顔で「こんにちは」と挨拶さ
れ、校長以下先生達が目標に
向かって取り組んでいる成果
を実感した。

小学校は単に児童に勉強を
教える場というだけではなく、
社会性の育成や地域との協力
など、様々な役割を担ってい
る。近年の少子化や核家族化
等により、人間関係の希薄化
やコミュニケーションの減少
が考えられるが、私達議員も
含め、地域における大人が、
今後多様な交流を通じて、
様々な体験を積み重ねること

により、児童の社会性の向上
に寄与するものと考えている。

③足寄中学校

中学校訪問の前に足寄町に
おける部活動の地域移行の現
状について、教育委員会より
説明を受けた。

町の取組として、令和5年
度に「足寄町部活動地域移行
検討協議会」を設置し、本町
の現状の把握、関係各層への
アンケート調査実施、スポー
ツ少年団指導者との情報交換
に取り組むなど検討を進める
とともに、新規に部活動コー
ディネーターを採用している。

令和6年度は継続して協議
会を開催し、足寄中学校部活
動顧問・外部指導者との情報
交換、本別町、陸別町との情
報交換を行い、一部の部活動
(卓球部、陸上部、サッカー
部、スピードスケート部)で
は外部指導者による指導を行っ
ている。

課題として、指導者の確保、
謝礼等に対する財源、移動手
段等がある。これらの解決に
は時間がかかるが、生徒の部
活動選択肢を維持する事や、
教職員の働き方改革を進める
ため、できる事から一つずつ

課題解消に向けて取り組んで
いくとの事だった。

中学校では、授業参観や校
舎内の見学、学校運営の説明
を受けた後、部活動の現場を
見学した。現在部活動は8つ
行われていて、バレーボール・
野球・サッカーは近隣町との
合同チーム、卓球・サッカー・
陸上・スピードスケートは外
部コーチが指導、うちスピー
ドスケートは地域移行済みで
ある。

中学校体育館では、卓球部
は外部指導者と顧問(学校教
諭)が2人で指導にあたってい
た。生徒から人気があるよう
うで、部員数も多く活発だっ
た。また、バレー部(女子)
は本別と合同チームだが週に
3日の練習のうち、火・金曜
日は、合同練習(場所は足寄、
本別交替制)、その他に土・
日曜日は、練習試合等が行わ
れる。見学当日は木曜日だっ
たため、足寄の生徒のみでの
練習であった。保護者の送迎
の負担が大きいと考えられる
が、移動手段については、今
後検討が必要と思われる。

町総合体育館では、サッカー
部の練習を見学した。

里見が丘レストハウスでは、
スピードスケート部が外部指
導者の下、高校生と合同で陸
上トレーニングを行っていた。
生徒が練習過多で怪我等をし
ないよう、また勝利至上主義
に陥ることが無いよう指導が
行われていた。

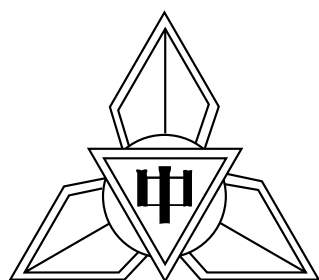
どの部も指導者のスポーツ
に対する厚意に頼る部分が大
きく、謝礼を含め検討が必要
であると考ええる。

学校運営においては、校章
の三本のペンが意味するところ
(三本のペンは、それぞれ
の学年が学問を探究し、未来
に向かって道を拓いてい
く意思の強い生徒の姿を
表す。三つの学年が手をつ
なぎ合って、知・徳・
体の調和のとれた人間形
成を目指す)に教育目標
や生徒と教職員のテーマ
が分かりやすく表現され、

内容についても共感すること
ができた。

部活動の成績や一年間の行
事を見ると、活発な活動が行
われていることに、校長をは
じめ教職員の努力が見受けら
れる。

懸念されることは、生徒の
一割ほどが不登校となってい
ること。義務教育の最終
3学年は、人生における基礎
的な知識や能力を身につける
大切な場であり、教育目標を
達成するためにも保護者や教
育支援員と連携し、課題解決
に向け一層の努力を頂きたい。



足寄中学校の校章



中学校の部活動を視察

議会報告会・町民との意見交換会

我が町の今と未来を語ろう

町内4か所で開催

平成23年施行の足寄町議会総合条例で定めた「町民との多様な意見交換の機会」の一環として、議会報告会・町民との意見交換会を11月19日から27日にかけて4会場で開催しました。

広報広聴常任委員会主催の議会報告会は今回で11回目となりました。

今回は、町民の皆さんと膝を交え、少人数でより深く話し合うことができるよう、参加者を2つのグループに分けて意見交換を行いました。また、議員全員「フーネクタイ・ノーバツジ」で臨み、参加者が気軽に話しやすい雰囲気づくりを心がけました。

頂いたご意見・ご要望は、議会から町執行部側へ伝え、情報共有するとともに、今後の議会活動に生かしてまいります。

各会場で出された主なご意見・ご要望等を一部抜粋して紹介します。

芽登集落センター会場

【11月19日開催 6名参加】

農業

● 離農後も足寄町に住み続けたくても、住宅がなく町外



に転出する人がいると思う。町内に住み続けたい人のために住宅を確保するなど、支援をしてもらいたい。

地域行事

● 今の芽登地区にはお祭りが無い。町からも集落センターを活用して行事を開催してはどうかといった提案があった。町の補助金が使ええるとのことなので、検討したい

きたい。

教育

● 子どもたちの地方自治への関心が低いと思う。「こうやったら町が変わっていく」といったことを子どもたちが学ぶ機会が少ないと思うので、議会傍聴など学ぶきっかけがあるといい。

除雪支援

● 町が助成する自治会の除雪支援について、町からは助成の対象者を拡大したと言われたが、そもそも地域に除雪の担い手がない。

大簗地集落センター会場

【11月20日開催 14名参加】

地域行事

● 大簗地地区で開催した夏祭りは大成功だった。町の補助金や自治会連合会からの寄附を資金に、地域で協力し合い開催できた。来年も開催を計画している。

雇用・人材確保

● 新規就農者など、やりたいことがあって足寄町に来た人たちに、もっと夢を持ってもらえるような雰囲気が必要だと思う。

小学校

● 大簗地小学校の運動会、学習発表会といった行事をきっかけに、地域の人が集まっている。学校がなくなってしまうたら本当にそういつた機会がなくなってしまうので、学校は絶対になくしてほしくない。

福祉

● 患者輸送バスで9時に病院に来て、午前中に診察が終わっても、帰りのバスが3時ごろまで来ない。途中で一度大簗地方面に戻るバスがあるといい。



らわん路の里会場

〔11月21日開催 8名参加〕



設にあるソーセージを作る機械が壊れており、公衆トイレも水が出なくなるなどの不具合もある。

鳥獣被害対策

●有害鳥獣駆除の報償金を見直してほしい。

●鹿が鹿柵の壊れた部分から農地に入ってきて、作物に被害が出ている。現状の補助制度や個人で対策しているが間に合っていない。新たな補助を考えてほしい。

部活動の地域移行

●部活動の地域移行により、外部コーチとして全国大会などについていく場合、補助などはなく経費は自己負担になるとのことだった。国の施策で地域移行をするのに、経費は個人負担というのは非常に厳しい。

通学等への支援

●スクールバスについて、運行日や停まる場所は中学校が基準になっている。高校生も一緒に利用していると不便なこともあるので、スクールバスで通学している高校生も使いやすいように配慮してほしい。

●農村部にいる子どもたちが

少年団活動に参加しやすいよう、有料でもいいので市街地までの送迎バスなど、サポートできる仕組みがあるといい。

町民センター会場

〔11月27日開催 9名参加〕

生活支援

●物価上昇により、年金で暮らしている高齢者は生活が苦しい。足寄町にも多くの高齢者がいるので、支援を考えてほしい。

地域おこし

●足寄町で働きたいと思ってもらうために、町内での職業体験に補助を出してほしい。また、人口減少対策のためにも、海外から企業・人材を募集していかなければならないと思う。

●地域おこし協力隊の人数、活動が長く分らない。もっと協力隊のことをPRして、活躍の場を作ってほしい。

農業

●足寄町の農家も高齢化が進み、遊休農地が出て来ている。これらの活用について考えていってほしい。

●地元で栄養のある安全な食材を作って、学校や病院の給食にもっと使えないか。特に子どもたちにはそういった食事が必要だと思う。

除雪支援

●自治会で小型除雪機の補助を町に頼んだが、対象外なので断られたと聞いた。地域で除雪を担う側も高齢者が増えていくので、助成金だけではなく機械に対しても補助をするなど、除雪支援の仕組みを変えなければならないと思う。



議会

●浦幌町議会では町内店舗でカフェを開き、町民との意見交換を行うなど、議員のなり手不足解消に取り組んでいる。足寄町も他町村の事例を参考に取り組んでほしい。

●議会がどういことをやっているのか知りたくて参加した。これからも足寄町に住み続ける人たちがもっとこつという場に参加して、興味を持ってほしいと思う。

今後も実施方法や内容を検討し、次回の議会報告会がより良いものとなるよう改善してまいります。
ご参加いただいた皆様、大変ありがとうございました。





議会の動き

〈2月〉

- 12日 総務産業常任委員会
- 20日 第2回臨時会・議会運営委員会
総務産業常任委員会・文教厚生常任委員会
全員協議会
- 26日 とかち広域消防事務組合議会（帯広市）
十勝圏複合事務組合議会（帯広市）

〈3月〉

- 3日 議会運営委員会
- 4日 第1回定例会・総務産業常任委員会
- 7日 議会運営委員会
- 13日 第1回定例会・議会運営委員会
- 17日 第1回定例会・議会運営委員会
予算審査特別委員会
- 18日 第1回定例会・議会運営委員会
予算審査特別委員会
- 19日 第1回定例会・議会運営委員会
予算審査特別委員会・広報広聴常任委員会
- 21日 第1回定例会・議会運営委員会
広報広聴常任委員会

〈4月〉

- 21日 十勝町村議会議長会定例会（帯広市）

議会を傍聴してみませんか

3月、6月、9月、12月の年4回定例議会が開催されます。どなたでも、自由に傍聴することができます。



令和7年度が始まり、私達議員の任期も折り返しになりました。足寄町が町民にとって住み良い町になるように、執行者と議会が車の両輪となり取り組んで行きたいと考えています。ぜひ、皆様の声をお寄せください。

（川上修一委員記）

閉会中の所管事務調査

常任委員会は、閉会中も引き続き次の所管事務を調査研究します。調査研究の内容は、次号以降でお知らせする予定です。

広報広聴常任委員会

- ①議会広報紙の編集及び発行に関する事項
- ②議会広報・広聴の実施に関する事項
- ③議会広報・広聴の調査及び研究に関する事項
- ④足寄町議会ホームページによる広報に関すること
- ⑤足寄町議会の放映による広報に関すること

議会運営委員会

- ①議会運営について
- ②議長との諮問に関する事項について

第2回定例会の日程

第2回定例会は6月3日開会
一般質問は16日からの予定です



足寄町議会中継のお知らせ

足寄町議会は、YouTube（ユーチューブ）でのライブ中継を行っています。過去の動画も見ることができますので、一般質問や議案審議の様子などを詳しく知りたい方はこちらをご覧ください。

インターネットで「足寄町議会 ユーチューブ」を検索するか、足寄町ホームページの足寄町議会の画面から接続することができます。

雪も解け、日増しに暖かくなってきました。皆様、元氣にお過ごしのことと思います。

さて、先日大誉地小学校の卒業式に出席しました。大誉地小は卒業生1人、在校生4人の小さな学校です。児童はきょうだいのように仲が良く、在校生の送る言葉を聞いていて、胸が熱くなりました。少

子化の波は足寄町でも顕著で、令和6年度に産まれた子どもはたった17人です。町として

いろんな施策を講じていますが、こればかりはどうにもなりません。今後、保育所や学校の在り方は何が望ましいのだろうか？そんなことを考えながら、卒業式を過ごしました。

令和7年度が始まり、私達

議員の任期も折り返しになりました。足寄町が町民にとっ

て住み良い町になるように、執行者と議会が車の両輪とな

り取り組んで行きたいと考えています。ぜひ、皆様の声を

